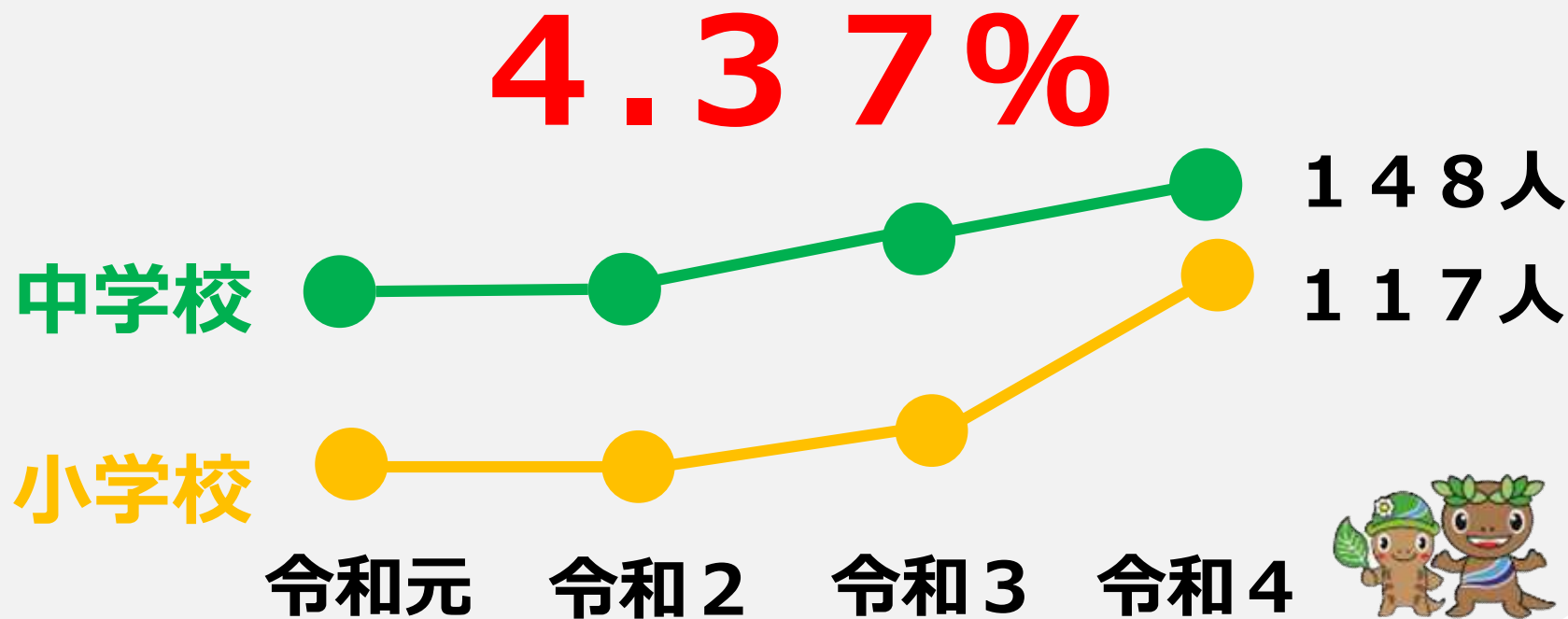


総合教育会議（資料 3）

2 誰一人取り残さない学びを 保障する不登校対策について

誰一人取り残さない学びを保障する不登校対策

本市における不登校の現状



誰一人取り残さない学びを保障する不登校対策

教育支援センター

せせらぎ教室



VLP



個に応じた指導
心の居場所



教育相談所

カラフルルーム

SSW

※バーチャル・ラーニング・プラットフォーム



1



3



2



4



誰一人取り残さない学びを保障する不登校対策

校内教育支援センター

校内カラフルルーム（仮称）

（教室に入りづらい子どもたちの居場所）



校内別室
指導支援員



クールダウン
個別対応
心の居場所



校内不登校
対策委員会



スクール
カウンセラー



誰一人取り残さない学びを保障する不登校対策

教育支援センター

せせらぎ教室



カラフルルーム

教育相談所

SSW

巡回支援

校内教育支援センター

校内

カラフルルーム



校内不登校
対策委員会



スクール
カウンセラー



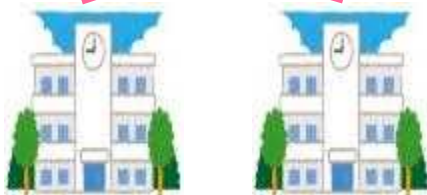
誰一人取り残さない学びを保障する不登校対策

不登校対応巡回教員の配置 ※中学校のみ



拠点校

市内中学校を巡回



巡回校

(目的)

- 1 不登校生徒の**出現率の抑制**
- 2 不登校生徒の**継続数の減少**
- 3 **専門機関等との連携**の促進

(巡回教員の取組)

- 1 **新たな不登校を生じない**取組
- 2 **多様な学びの場を確保**する取組
- 3 連絡会及び研修会への参加
- 4 実践の成果等普及・啓発

誰一人取り残さない学びを保障する不登校対策

チャレンジクラス

「東京型不登校特例校（校内分教室）」の開設

- 1 不登校生徒が安心して学校生活を送ることができるようなゆとりある生活時程を実現し、実態に応じた支援を行う。

誰一人取り残さない学びを保障する不登校対策

チャレンジクラス

「東京型不登校特例校（校内分教室）」の開設

- 2 正規の教員が担任となり、授業を行います。また、養護教諭やスクールカウンセラー等も生徒の支援を行います。

誰一人取り残さない学びを保障する不登校対策

チャレンジクラス

「東京型不登校特例校（校内分教室）」の開設

- 3 生徒一人一人の学習状況に合わせた個別学習やグループ別学習などを行うほか、生徒の興味や関心に合わせた様々な体験活動等を通じて、生徒のチャレンジ意欲を育みます。

誰一人取り残さない学びを保障する不登校対策

チャレンジクラスのカリキュラム（案）

- 生徒に配慮した**個別の指導計画**を作成
- 生徒の実態に即して**時数を削減**
年間授業時数**665時間**（標準1015時間）
（例）月・火・木・金（4時間）水（3時間）
- 学校内の施設を活用した授業を実施



誰一人取り残さない学びを保障する不登校対策

チャレンジクラスの生活時程（案）

通常学級	別室学級	生活時程	月	火	水	木	金
1校時		～9:30	登校				
		9:30～9:35	朝の学級活動				
		9:35～9:45	リフレッシュタイム（軽運動）				
2校時	1校時	9:50～10:40	学活	社会	道徳	英語	保体
3校時	2校時	10:50～11:40	国語	英語	理科	理科	数学
4校時	3校時	11:50～12:40	技術/家庭	数学	保体	国語	社会
		12:50～13:10	給食				
		13:10～13:30	昼休み				
5校時	4校時	13:35～14:25	総合	音楽		美術	総合
6校時		14:30～14:40	清掃				
		14:40～14:50	帰りの学級活動				
		15:00	下校				

誰一人取り残さない学びを保障する不登校対策

チャレンジクラス

「東京型不登校特例校（校内分教室）」の開設

- 登校日数の増加
- 学習内容の定着
- 学校内外の機関等による相談・指導等を受けていない生徒の解消



誰一人取り残さない学びを保障する不登校対策

「チャレンジクラス」今後の見通し（予定）

令和6年度

- ・せせらぎ教室の利用者等を対象予定
- ・入級に係る手続きや周知方法等に関する検討委員会の設置

令和7年度以降

- ・市内全中学校から段階的に受入開始

誰一人取り残さない学びを保障する不登校対策（案）

あきる野市教育委員会

教育支援センター

教育支援室（せせらぎ教室）

VLP※



※バーチャル・ラーニング・プラットフォーム



個別最適な学び
個に応じた進路指導
心の居場所

せせらぎ指導員に
よる巡回支援



都非常勤教員

カラフルルーム

月～金 13時～15時 市役所別館1階
水～金 10時～15時 五日市出張所2階
五日市教育相談所内

教育相談所

臨床心理士、教育相談員等

スクールソーシャル
ワーカー活用事業

不登校
加配教員



不登校
加配教員



市内中学校を巡回

巡回校



在籍校面談 → 見学・体験 → 配置校面談 → 審査 → 入室（転学）

校内教育支援センター

校内カラフルルーム（仮称）

（教室に入りづらい子どもの居場所）

校内別室
指導支援員



市会計年度任用職員

クールダウン
個別対応
心の居場所



スクール
カウンセラー



不登校対応
巡回教員

拠点校（中）



居場所づくりの推進
個に応じた支援
校内支援体制の整備

チャレンジクラス

「東京型不登校特例校（校内分教室）」

校内別室指導教員配置
（正規教員）

- 生徒に配慮した個別の指導計画を作成
- 生徒の実態に即して時数を削減
年間授業時数 665時間
(例) 月・火・木・金(4時間) 水(3時間)
- 学校内の施設を活用した授業を実施



- 登校日数の増加
- 学習内容の定着
- 学校内外の機関等による相談・指導等を受けていない生徒の解消